



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟
編集・発行人 小島 隆也
東京 都文京区 林友ビル6階
〒112-0004 電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価 年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

年頭挨拶

一般社団法人 全日本木材市場連盟
会長 西垣 泰幸



新年、あけましておめでとうございます。皆様には当連盟の運営につきまして、格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。

昨年を振り返ってみますと、箱根駅伝青学4連覇から正月が始まりましたが、米中の関税措置の応酬等経済摩擦の激化、産油国等での国際的緊張の高まり、大手メーカーでの不正並びに国内外での台風・豪雨、地震及び山火事等自然災害の多発年など激動の年でした。一方で、日経平均株価の久々の高値推移、平昌五輪・パラリンピックでの日本選手の大活躍及び本庶佑氏のノーベル医学・生理学賞受賞など明るい話題もありました。

さて、政府の月例経済報告では、「景気は、緩やかに回復している」とされ、新設住宅着工戸数は1月10月累計で78万戸と対前年同期比97%とおおむね横ばいで推移しております。

また、米中貿易戦争の行方、英国のEU離脱問題、原油価格の動向、新興国経済の減速、為替の動向、C/W法の影響及び消費増税の影響など内外に多くの懸念材料があり、景気並びに木材市況等の先行きは、極めて不透明です。

政府・与党は、「経済財政運営と改革の基本方針」及び「未来投資戦略」等を策定し、林業の成長産業化による地方創生を目標に、林業の成長産業化に向けた新たな森林管理システムの創設、森林環境税(仮称)及び森林環境贈与税(仮称)の創設、中高層建築等への木材利用拡大、生産流通構造改革及び研究開発の推進を掲げておられます。そのため31年度予算案等においても「新たな森林管理システムの構築」のための対策及び「林業成長産業化総合対策」が盛り込まれております。

今後の木材利用をより一層促進するため、経済対策の充実・強化が強く望まれますと共に、林業・木材関係者が一体となり、国産材の安定供給体制づくり、木

材の需要拡大に取組むことが重要ですが、全市連と致しましても、関係団体と連携し、山元への利益還元等の観点からも「森林・林業再生に向けた共同行動宣言2018」を行ったところです。引き続き、新たな木材需要の創出、都市の木造・木質化、木質バイオマスの安定供給、C/W法に沿った合法木材の供給、JAS製材品の流通拡大、国産材等の安定供給体制づくり、人材育成、設計士等との連携による木材利用拡大などにも、会員の声を反映させながら取り組んで参ります。更に、東京五輪関連施設での木材使用を通じて、世界に向けた「木の文化」の情報発信及び必要な木材供給にも取り組んで参りましょう。

木材流通を巡る状況は依然厳しいものがありますが、激変する状況に柔軟に対応し、皆様の英知を結集して、困難を乗り切つて参りましょう。

今年の干支は、己亥ですが、己(つちのと)は、植物が成長して形が整っている様子、亥(い)は、植物の生命力がその内に閉じ込められている状態を表しているそうですので、新しい元号が始まる年にふさわしいかもしれません。

皆様方の益々のご隆盛とご健勝をご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年ご挨拶

一般社団法人 全国木材組合連合会
会長 鈴木 木和雄

新年おめでとうございます。旧年中は、皆様方には本会の運営に格別のご理解、



ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年は、林野庁が創設された「新たな森林管理システム」と「森林環境譲与税の配分」がともに4月からスタートするという画期的な年です。

「意欲と能力のある林業経営者等」を主体とする森林管理システムの着実な実行に期待するとともに、日本の森林を守る上でこうした山側の対策と同じくらい重要な課題である国産材の需要創出にともって飛躍の年となることを期待してまいります。

特に、我々木材産業関係者にとっては、森林環境譲与税の使途に木材利用促進が位置付けられ、これまであまり木材が使われてこなかった都市部等での木材利用拡大へのチャンスが巡ってきているものと考えているところです。

すでに3時間耐火部材も大臣認定を受けており、木造での超高層ビル実現も夢ではありません。佐賀や仙台での例のように、柱や床などの木質化による中高層ビルの木造化の例も出てきており、木材利用の促進に對しての理解が急速に広まってきています。

また、東京都の小池知事が提唱し、全国知事会に創設された「国産木材利用促

進PT」では、都市が木材利用の促進に取組むことで地方の森林を助けていくという新しい枠組みが取り上げられており45の都道府県が参画しています。

元々、森林資源は我が国唯一の再生可能な循環資源であり、適時に伐って使つてやるのが森林の活力を生かすことに繋がります。

中高層ビルに木材を使うことにより大都市がCO2を固定する環境都市に生まれ変わり、林業が成長産業化することで地方創生や雇用拡大が図られ、さらに森林資源も充実します。まさに都市での木材活用は「SDGs」の模範的なモデルにもなり得ると確信しています。

戦後に建てられた都会の多くの建物が建て替え時期を迎えており、味気ないRC造やS造の建物をもう一度建築するのではなく、環境に優しい木造や木質化された建物にしていくことが「当たり前」になる時代が来ていると考えています。

今年が猪年です。こうした森林・林業・木材産業に吹く追い風をつかみ、本年を「都市木造化元年」とすべく、全森連始め広く林業関係団体とも力を合わせて、全木連の総力を挙げて努めていくこととしたいと考えています。

皆様方のご支援、ご協力を是非お願い申し上げます。

本年が森林・林業・木材産業並びに皆様方にとって、素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

年頭所感

林野庁長官 牧元 幸 司



平成31年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

昨年は、平成30年7月豪雨や台風21号、北海道胆振東部地震などにより、日本各地で甚大な被害が生じました。亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々には御見舞い申し上げます。林野庁といたしましては、一日も早い復旧、復興に全力を挙げて取り組んでまいります。

昨年、適切な経営管理が行われていない森林について、市町村による公的管理を進める森林経営管理法が成立しました。また市町村が実施する森林整備及びその促進に資する取組の財源として、森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮称)が導入されることとなっています。新制度や新税がスタートする本年は、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の実現に資する新制度等の着実な運用に向け、地方公共団体を含む関係者の方々の連携を強化してまいります。

また、昨年12月30日にはTPP11が発効し、さらに今後日EU・EPAの発効も控える中、川上に加えて、川中・川下、そして流通全体での改革が喫緊の課題です。引き続き、加工施設の効率化等により、木材産業の体質強化を推進していくとともに、川上から川下までの需給等の情報を共有する効率的なサプライチェーンの構築に取り組んでまいります。

木材の需要拡大・利用促進も大きな課題です。まず、建築分野について、低層住宅と中高層建築及び低層非住宅について、CLT等の新たな製品・技術の開発普及やJAS構造材の普及支援等による代替需要の獲得に取り組みます。

本年は、意欲と能力のある林業経営者のために、国有林野の一定の区域で、公益的機能を確保しつつ、長期・安定的に立木の伐採を行うことができる新たな仕組みの導入に向け、検討を進めてまいります。

結びに、全国各地の森林・林業・木材産業の発展と、読者の皆様のますますの御健勝と御発展を祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭所感

林野庁木材産業課

課長 猪島 康 浩

平成31年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

昨年は、7月の豪雨や台風21号、北海道胆振東部地震等による甚大な被害が生じました。亡くなられた方々の御冥福をお祈りしますとともに、被災された全ての方々にお見舞い申し上げます。



さて、昨年9月に発表いたしました木材需給表によりますと、平成29年の我が国の木材自給率は36%となり、7年連続の上昇となりました。これまでの国産材利用拡大に対する貴連盟の会員各位の多大なるご貢献に深く敬意を表します。我が国の森林・林業については、戦後造成された人工林が今まさに本格的な利用期を迎えており、「伐つて、使つて、植える」という形で循環利用していくことで、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立し、先人たちが守ってきた豊かな森林を次世代へ継承していくことが大きな課題となっております。

また、昨年12月30日にはTPP11が発効し、さらに今後日EU・EPAの発効も控える中、川上に加えて、川中・川下、そして流通全体での改革を進め、木材製品の国際競争力を強化することが喫緊の課題です。

このため、引き続き、木材加工流通施設の整備、競争力強化に向けた地域における工場間連携等を推進していく考えです。

更に、川上から川下までの事業者間での需給等の情報を共有する効率的なサプライチェーンの構築に取り組んでまいり

ます。

木材の需要拡大・利用促進も大きな課題です。まず低層住宅では、国産材の割合が低い横架材や羽柄材、2×4部材等において外材からの代替需要の獲得が重要です。一方、中高層及び低層非住宅建築では、木造建築の普及による木材需要の拡大を推進していく必要があります。このため、横架材等の製品・技術開発や、CLTや木質耐火部材等の新たな製品・技術の開発・普及、JAS構造材の利用拡大支援等に引き続き取り組んでまいります。

年頭のごあいさつ

林野庁業務課

企画官(国有林材安定供給担当)

田口 護



新年あけましておめでとうございます。

全日本木材市場連盟の皆様には、国有林野事業の実施に当たり、格別のご理解

とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

また、木材供給者である川上の方々に對して需要者のニーズをフィードバックするとともに、木材消費者の方々に對しては木材アドバイザー制度等を通じて木材の魅力を発信されるなど、木材流通の要として、森林・林業・木材産業の発展に大きく貢献していることに敬意を表します。

昨年は、豪雨や台風、北海道胆振東部地震により、各地で甚大な被害が発生しました。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧復興をお祈り申し上げます。

国有林の現場においても、風倒木の発生や林地崩壊、林道災害などにより、まだ、事業実行に支障を来している地域もありますがおおむね計画に沿った実行となっているところです。

充実した人工林資源を「伐って、使って、植える」という循環利用により、山村地域を元気にすることが林業の成長産業化です。

昨年は、森林環境贈与税や森林環境税の創設、新たな森林管理システムを進める森林管理経営法成立など施策転換の年でもありました。

本年は、国有林においても、木材需要の動向に対応した原木の安定供給に向け、引き続きシステム販売に取り組むとともに、長期・安定的に木材供給する仕組みづくりなど新たならしいことにもチャレンジすることとしています。

業界の方々から教わった「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)

の精神で、川上も川下も地域も元気になるような取組を進めたいと思っております。

これらの取組を進める上では、皆様方のご協力が必須です。本年もお世話になります。よろしくお願いいたします。

最後に、全日本木材市場連盟と会員の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

■平成30年度木材利用推進「全国会議」開催

総理大臣賞は、

「江東区立有明西学園」

木材利用推進中央協議会(鈴木和雄会長)は、11月28日(水)、平成30年度木材利用推進「全国会議」を東京の木材会館(江東区新木場)で開催した。参加者は約180名。来賓は、吉川貴盛農林水産大臣、長野麻子林野庁林政部長、国土交通省の中山義章木材利用推進室長ほか。

会議は2部に分かれ、第1部では国の施策や地域の事例発表、講演などが行われた。また第2部の平成30年度木材利用優良施設表彰式では、本年度から新たに、内閣総理大臣賞が設定され、江東区立有明西学園(東京都)が初の、総理大臣賞を受賞した。

(第1部) 会議の開会に当たり鈴木会長は「当コンクールも26回目を迎え、木材利用促進法以来、数多くの中大規模木造の事例ができ、多くの方々の関心

を集めている。本年初めて、内閣総理大臣賞が創設され、関係者に御礼。応募作品数は例年の1.5倍に達し、技術的にも、デザイン面でも優れた作品が多く、難しい審査となったが、三井所委員長はじめ、審査委員の皆様のご尽力に感謝。本日は、内閣総理大臣賞をはじめ、農林水産大臣賞、林野庁長官賞等を受けられた、発注者、設計者、施工者の方々の榮譽を称えさせていただきます。都市部、地方を問わず、木造化や木質化への評価が浸透し、着実に「木の良さ」が国民の皆様認識され、国産材への信頼感や安全・安心に對する期待に応え得る建物が現実のものとして作られるようになった。受賞される皆様に心からのお祝いを申し上げます。これを契機に多くの方々へ宣伝・紹介していただき、「木の素晴らしさ」を内外に積極的に広めていっていただくことを祈念いたします。」旨挨拶した。

林野庁及び国土交通省からの来賓挨拶の後、「公共建築物・街づくり等木材利用推進の取組み(国の施策・取組み)」をテーマに林野庁の長野麻子木材利用課長、国土交通省官房官庁営繕部木材利用推進室の中山義章室長、文部科学省の文教施設企画部施設助成課の原誠史課長補佐が、それぞれの公共建築・街づくり等木材利用推進策を説明した。

続いて、木の街づくりへの取組事例として、木とともに生きる檜原人物語と題して、前橋原町長矢野富夫氏から報告があった。

更に、「地域木材資源でつくる公共空

間と風景」と題して、安原幹東京大学大学院准教授(株)SALHAUS共同代表)からグッドデザイン賞金賞を受賞した陸前高田市立高田東中学校等をはじめ、最  
近手がけられた斬新な公共建築物等の事例を御紹介頂いた。



総理大臣表彰

(第2部) 平成30年度木材利用優良施設表彰式

表彰式には、吉川貴盛農林水産大臣も公務御多忙の中、駆けつけられ、受賞者への賞状授与をして頂いた。

内閣総理大臣賞以外の表彰は、次のとおり。

(農林水産大臣賞) 宿毛商銀信用組合新店舗(高知県宿毛市)

(林野庁長官賞) 竹中研修所「匠」新館(兵庫県川西市)、大槌町文化交流センター「おしゃつち」(岩手県大槌町)、朝日

村役場(長野県朝日村)  
(木材利用推進中央協議会会長賞) 福島県営復興公営住宅磐崎団地(福島県いわき市)、八戸市立西白山台小学校(青森県八戸市)、熊本県立熊本かがやきの森支援学校(熊本県熊本市)、認定こども園さざなみの森 吹の棟(広島県東広島市)  
全国大会で採択された、宣言文は以下の通り。

平成30年度 木材利用推進全国会議 — 宣言 —

「木材利用推進に向けた新たな展開」  
木材の利用は、人々のくらし、農山村地域の振興、地球環境の保全等に大きく貢献するものであり、林業の成長産業化を実現していく観点からも、その拡大を進めていくことが重要である。

森林の適切な管理を実現していく上で、「新たな森林管理システム」と「環境譲与税・環境税」の創設は、極めて重要な施策であり、大きな一歩である。しかしながら、こうした山側の対策と並行した国産材の需要創出は、日本の森林を守る観点から、適切な森林管理と同様に重要な課題と認識と認識している。既に3時間耐火部材も大臣認定を受けており、木造超高層ビルも夢ではない。国交省による建築基準法の改正等、世の中の流れは木材利用の促進に対しての理解が急速に広まっている。

さらに、東京都知事が提唱し、全国知事会に創設された「国産木材利用促進プロジェクトチーム」や各県の木材利用促

進条例制定の動きは、都市が木材利用促進に取り組むことで、地方の森林を助けたいという新しい枠組みが広がる可能性を持っている。

このような中で、我々は、広範な国民の理解と支援を得つつ、住宅、公共施設等のもとより、市街地のビルや商工業施設、駅舎やバス停などから身の回り用品に至るまで、あらゆる場面での木材利用が一層促進されるよう、次の事項を重点として中央、地方が一丸となった新たな次元での活動を展開していくこととする。

- 1 公共建築物等に加え、民間の商工業施設や中高層ビル等への木材利用の重点的促進
- 2 国産材の生産・流通改革のための抜本的対策の展開による山元への利益還元の実現
- 3 農林水産業や道路等の公共土木工事における木材利用の拡大
- 4 東京オリンピック・パラリンピック関連施設への木材活用PRの強化
- 5 新たな木材利用分野の拡大のための木材新製品や生産及び利用に係る技術開発等の加速化
- 6 JAS、合法性証明等、安全・安心の木材・木製品の供給・利用の一層の促進
- 7 需要者・消費者、行政関係機関との密接な連携による木材利用推進運動の積極的展開

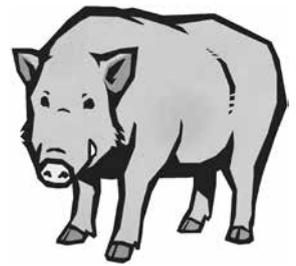
平成30年11月28日  
木材利用推進・全国会議

雑記帳

今年の干支は亥猪(イノシシ)である。亥の年がイノシシ年なのは日本だけだそう。干支の起源という中国をはじめ、干支に親しんでいる諸国において、亥「猪」は豚を表し(中国ではイノシシを「野猪」と表記)、今年も豚年だそう。豚はイノシシを家畜化したもので、8千年以上前から、ユーラシア大陸の東西(イノシシは元来、アジアやヨーロッパを中心に生息)で家畜化されたこと。日本においても、律令時代(7〜10世紀)その飼育は途絶えたものの、「猪飼」という苗字もあるように、縄文、弥生時代から、野生のイノシシを家畜化していたことが考古学的にも明らかになっている。イノシシは、短い脚と寸胴の体型にも係らず、100mを8秒で走り、助走なしで120cmの高さのバーを飛び越え、時速4kmで30kmを泳ぐことも可能という優れた身体能力の持ち主であるという。種の繁栄を、生息域の拡大と個体数の増加という面から見ると、豚は本来生息していなかったアメリカ大陸及びオーストラリア大陸等においても飼育・生息(人間によつて持ち込まれた豚等が再野生化)するようになった。ヨーロッパにおけるイノシシの生息数は約4百万頭と言われるが、豚はヨーロッパだけでも1億頭以上が飼育され、種の繁栄における成功者と言えよう。飼育下の豚が幸せか否かは別にして、自らの肉と皮革を提供してヒトに手助けされ、ヒトを上手に使って種の繁栄を勝ち取った種の戦略は、見事という見方もできるかもしれない。

謹んで新春のご挨拶を申し上げます

平成三十一年 元旦



西垣 林業

代表取締役会長 西垣 泰幸

代表取締役社長 西垣 雅史

桜井市場

〒六三三〇〇六四 奈良県桜井市戒重一三七  
電話(〇七四四)四六一三八〇〇 FAX(〇七四四)四六一三八三八

名古屋市場

〒四六七〇八五五 名古屋市瑞穂区桃園町三二二三  
電話(〇五二)八一七二二二 FAX(〇五二)八二四一八二九七

舞鶴事業所

〒六二四〇九四五 京都府舞鶴市大字喜多小字片淵二四三二四  
電話(〇七七三)七五三三二二五 FAX(〇七七三)七五三四八七六

浜松事業所

〒四三八〇八〇四 静岡県磐田市加茂二二二五一一  
電話(〇五三)八三三二二〇四 FAX(〇五三)八三二一四四三二六

茨城事業所

〒三一九〇一〇五 茨城県小美玉市鶴田字兵庫久保七三〇一五  
電話(〇二九九)三五七七一六〇 FAX(〇二九九)三五七七一六一

酒田事業所

〒九九八〇〇〇五 山形県酒田市直海字明治九九一〇  
電話(〇二三四)三三二五七〇四 FAX(〇二三四)三三一八六六八

四国事業所

〒七八三〇〇六〇 高知県南国市蛸が丘一〇一三〇四号室  
電話(〇八八)八二二一六九九六 FAX(〇八八)八二二一六九九七

豊田事業所

〒四七〇〇三七一 愛知県豊田市御船町山ノ神五六一六一六  
電話(〇五六五)七七一一〇七七 FAX(〇五六五)七七一一〇七八

高山出張所

栃木出張所

北海道木材市場協同組合

理事長 加賀谷 雅治

〒〇〇二八〇五二 札幌市北区篠路町上篠路七七八  
電話 〇一一七七五七七五五

青森県森林整備事業協同組合

(原木市場)

理事長 川崎 幸宏

〒〇三〇一九五五 青森市大字駒込字桐ノ沢一二二九一一  
電話 〇二七四七四三二五四二一

秋田中央木材市場株式会社

代表取締役 工藤 茂丸

〒〇一〇〇九四一 秋田市川尻町字大川反二二二二七  
電話 〇二八八六三二二二二  
FAX 〇二八八六三二二二二

株式会社 山形城南木材市場

代表取締役社長 安部 雄祐

定例市日 八・十八・二十八日

〒九九〇一三三〇七 山形市表蔵王六〇〇一  
電話 〇二三六八八二二〇〇  
FAX 〇二三六八八二二〇二

株式会社 仙台木材市場

代表取締役社長 守屋 長光

定例市日 第二、第四 水曜日

〒九八三〇〇三六 仙台市宮城野区善竹二一七二一三〇  
電話 〇二二二三二二二一〇〇  
FAX 〇二二二三二二二一〇七

福島県木材市場協同組合

理事長 佐藤 政俊

〒九六〇一八〇四三 福島市中町五一八  
TEL 〇二四一五二二二三三〇七  
FAX 〇二四一五二二二三〇八

福島県郡山地区木材製材協同組合  
株式会社平木材市場  
有限会社福島原木センター  
南東北木材株式会社  
協同組合奥久慈木材流通センター

株式会社 ミトモク

代表取締役社長 安藤 裕一

本社 定例市日 一八日

本社 水戸市千波町一八八四  
電話 〇二九一二四二二二二(代)  
日立営業所  
日立市留町二四三五五六二  
電話 〇二九四一五一八三九(代)

株式会社 茨城木材相互市場

代表取締役社長 打越 芳男

定例市日 本社 (毎月十三日) つくば営業所 毎週末曜日

〒三一〇〇八二六 茨城県水戸市浪井町五〇  
電話 〇二九一三二二二二二

株式会社 吾野原木センター

代表取締役社長 鴨 下 文明

定例市日 針葉樹 毎月五日・二〇日  
広葉樹 毎月二三日又は二三日  
〒三五七〇二一一 埼玉原飯能市大字平戸二〇三  
電話 〇四二一九七八一八二八六  
本社 〇四二一九七八一八二三四  
第二工場 〇四二一九七八一八二三四  
FAX 〇四二一九七八一八二八七

株式会社 宇都宮総合木材市場

代表取締役 金子 利雄

定例市日 七・十七・二十七日

〒三二一〇四一四 栃木県宇都宮市中里町七一八一四  
電話 〇二八八七四一七四八(代)  
FAX 〇二八八七四一四三八六

# 「次に向かって創立百周年」

## 東京木材市場株式会社

代表取締役社長 市川英治  
代表取締役専務 村井宏次

本社・市場

〒一三六〇〇八二二  
東京都江東区新木場二一―一八  
TEL 〇三―三五二―一七一―(代表)  
FAX 〇三―三五二―一七一―

市日 毎週木曜日

TEL 〇三―三五二―一七一― (市売)

越谷センター

〒三四三―〇八四四  
埼玉県越谷市大間野町一―一三〇  
TEL 〇四八―九八九―〇一七一

## 株式会社 東海木材相互市場

代表取締役社長 鈴木和雄

http://www.kirakuninet.com

本社

〒四五六―〇〇三三 愛知県名古屋熱田区花表町二十一番一  
電話 〇五二―八八一―一五五一 FAX 〇五二―八八一―三〇八二

西部市場

〒四九〇―一四四四 愛知県海部郡飛鳥村木場二丁目十七番地  
電話 〇五六七―五五一―一五五 FAX 〇五六七―五五一―二五三八

大口市場

〒四八〇―〇二二一 愛知県丹羽郡大口町河北二丁目二番地  
電話 〇五八七―九五―一〇一 FAX 〇五八七―九五―一〇五

サテライト美並

〒五〇一―四一〇一 岐阜県郡上市美並町上田字小倉塚二五―一六番一  
電話 〇五七五―七九―五〇五 FAX 〇五七五―七九―五〇六

サテライト名倉

〒四四一―四三三一 愛知県北設楽郡設楽町東納庫字ムカイ山十六番  
電話 〇五三六―六三―三四五六 FAX 〇五三六―六三―三五三五

飛騨匠工場

〒五〇六―〇三三五 岐阜県高山市新宮町一―二番地八  
電話 〇五七七―三六一―五四三九 FAX 〇五七七―三六一―五九三九

## 千葉県木材市場協同組合

代表理事 吉岡 實

定例市日 毎週木曜日

〒二八三―〇八二三

千葉県東金市山田八〇〇

TEL 〇四七五―五五―六一六一  
FAX 〇四七五―五五―六一七一

## 株式会社 ゲンボク

代表取締役社長 岡田育大

市売日 製品(徳島県木材センター内)

毎月八の日

(但し祝日・土曜日繰上・繰延)

本社

徳島市中昭和町一丁目三番地  
電話 (〇八八) 六五三―一〇一〇六

木材センター

徳島市津田海岸町四番三十一号  
電話 (〇八八) 六六三―二二七五



## 株式会社 伊万里木材市場

木のやさしさ...人へ未来へ。

本社

〒八四九―四二五二

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番地三〇  
TEL 〇九五五―二〇―二一八三(代表)  
FAX 〇九五五―二八―二八五五

福岡営業所

〒八二四―〇六〇四

福岡県田川郡添田町野田一九二七  
TEL 〇九四七―八二―五〇一〇  
FAX 〇九四七―八二―五〇一一

大分営業所

〒八七九―五四一三

大分県由布市庄内町大龍二〇八一―  
TEL 〇九七―五八六―二二二〇  
FAX 〇九七―五八六―二二三〇

南九州営業所

〒八九九―八六〇六

鹿児島県曾於市末吉町深川八八六番地  
TEL 〇九八六―二八―〇二二八  
FAX 〇九八六―七九―一七七七

南九州営業所 第二土場

〒八九九―八六〇六

鹿児島県曾於市末吉町深川八五一五番地二  
TEL 〇九八六―三六―四八八〇  
FAX 〇九八六―三六―四八八一

糸島事業所 木の駅「伊都山樫」

〒八一九―一五六三

福岡県前原市高菜寺三四二番一  
TEL 〇九二―三三一―五〇二〇  
FAX 〇九二―三三一―五〇二一

ホームページ <http://www.imarinokuzai.co.jp>  
メールアドレス [imamoku@imarinokuzai.co.jp](mailto:imamoku@imarinokuzai.co.jp)

## 木材アドバイザー 養成講習会

(東京会場)  
平成31年 2月15日(金)  
2月16日(土)

木材会館(東京木材問屋協同組合)会議室  
東京都江東区新木場 1-18-8  
木材会館

(大阪会場)  
平成31年 2月22日(金)  
2月23日(土)

大阪木材仲買会館  
大阪府大阪市西区南堀江  
4丁目18番10号

皆様のご参加をお待ちしております。

謹賀新年



株式会社 東京木材相互市場

代表取締役社長 西村 信洋

〒一七九〇〇八一  
東京都練馬区北町六丁目  
三十二番三十六号

電話 〇三三三九三四四一八  
FAX 〇三三三九三四四二六

東京新宿木材市場株式会社

代表取締役社長 萩原 友隆

定例市日  
鶴ヶ島売場 毎週木曜日

〒一五六〇〇五七  
東京都世田谷区上北沢  
五丁目三七一一八

電話 〇三三三三〇四一五三一  
FAX 〇三三三三〇四一四三一

東京中央木材市場株式会社

代表取締役社長 飯島 義雄

市日 水曜日

〒二七九〇〇三二  
千葉県浦安市千鳥一三  
電話 〇四七三三五五〇〇一  
FAX 〇四七三三五五一一三

NICE ナイス株式会社

代表取締役社長 平田 恒一郎  
代表取締役社長 杉田 理之

(本社)  
〒二三〇八五七

横浜市鶴見区鶴見中央四丁目三番一号  
電話 〇四五二二六一六一(代表)  
FAX 〇四五二二六一六一

丸宇木材市売株式会社

代表取締役社長 押本 雅壽

〒136-0071 東京都江東区亀戸 6-57-19  
Tel 03-6904-8141 Fax 03-5628-3722  
http://www.maruu.co.jp

市 日

北浜市場(毎週木曜日) | 下館市場(毎週金曜日)  
大栄浜市場(毎週水曜日) | 京葉市場(毎週木曜日)

新東京木材商業協同組合

理事長 廣木 俊一

〒一七一〇〇四四  
東京都豊島区千早一〇二〇一三  
電話 〇三三三九五九一七八  
FAX 〇三三三九五八三三九九

株式会社 横浜連合木材

代表取締役社長 本多 雅治

〒二五三〇一一一

神奈川県高座郡寒川町一之宮  
電話 〇四六七七三三〇〇七三  
FAX 〇四六七七三三〇二三〇

関東木材センター協会

会長 内田 鉄夫

(事務局)

〒一七一〇〇四四  
東京都豊島区千早一〇二〇一三

電話 〇三三三九五九一七八  
FAX 〇三三三九五八三三九九

木曾官材市売協同組合

代表理事 野村 弘

定例市日  
製品 国産土場活用委託 月一回  
原木 萩原事務所 月一回  
坂下事務所 月二回

〒三九九一五六〇四  
長野県木曾郡上松町正島町二四四  
電話 〇二六四一五二二四八〇(代)

神戸木材市売協同組合

代表理事 名田 健吾

〒六五三〇〇三三  
神戸市長田区薊藻島町三一五二四

TEL 〇七八一六八一三四四(代)  
FAX 〇七八一六八一三四四(代)  
ブレカット事業部  
TEL 〇七八一六七一一八八六(代)  
FAX 〇七八一六七一一八八五(代)

鈴鹿木材株式会社

代表取締役社長 森 啓介

定例市日 六日・十六日・二十六日

〒五一〇二二六四  
三重県鈴鹿市徳居町四六一二

TEL 〇五九一三七二二二八〇八  
FAX 〇五九一三七二二二七六五

松阪木材株式会社

代表取締役社長 村林 稔

定例市日 毎週水曜日

本社 〒515-0088  
松阪市木の郷町21  
TEL 0598-20-2323  
FAX 0598-20-1082  
ウッドピア市売 浜間屋  
TEL 0598-20-1616  
FAX 0598-20-1515  
ウッドピア21 事業部  
TEL 0598-20-1122  
FAX 0598-20-1127  
新潟営業所  
TEL 025-256-6000  
FAX 025-256-6600

株式会社 東京木材相互市場

代表取締役社長 西村 信洋

定例市日 月二回 火曜日

〒五一八〇二〇四  
三重県伊賀市北山一五六〇  
電話 〇五九五五二一三三三  
FAX 〇五九五五二一三三三

全日本木材市場連盟 北陸支部

支部長 柳原 正紀

【加盟木材市場】

- 株式会社富山合同木材市場 (TEL 076-452-1155)
- 株式会社高岡木材市場 (TEL 0766-52-2131)
- 富山県森林組合連合会 (TEL 076-434-1750)
- 福井県嶺北木材林産協同組合 (TEL 0776-53-0221)
- 福井県木材市売協同組合 (TEL 0776-41-3730)
- 福井県森林組合連合会 (TEL 0776-38-0345)

石谷林業株式会社

代表取締役社長 石谷 樹人

定例市日 八・十八・二十八日

〒六八九一四〇一  
鳥取県八頭郡智頭町市瀬一四三八一

電話 〇八五八二七五〇六三五

株式会社 岡山木材相互市場

代表取締役社長 岡本 剛

本社 〒七〇一〇二二一  
岡山市南区藤田五六〇

TEL 〇八六一二九六〇三〇六  
岡山営業所 〒七二〇二二二五  
広島県福山市神辺町新徳田  
TEL 〇八四一九六三二七〇三〇

真庭木材市売株式会社

代表取締役社長 山下 薫

本 社 〒七一九三二〇三  
真庭市富尾一番地

TEL 〇八六七 四二一〇六〇二  
FAX 〇八六七 四二一〇六〇〇  
月田木材市場 〒七一七〇〇二四  
真庭市月田七四八六番地

TEL 〇八六七 四四一三一八一  
FAX 〇八六七 四四一三五一一  
Eメール mmik@lime.ocn.ne.jp

<p>株式会社 福山中央木材市場</p> <p>代表取締役社長 小林方之</p> <p>〒七二〇一二二四 広島県福山市神辺町川南 一三六一二</p> <p>電話 〇八四一九六三一〇〇一 FAX 〇八四一九六三一〇〇二</p>	<p>「木の目、木の肌、木の香り」 活かして使おう国産材</p> <p>国産材専門の産地市場 美作材優良松・杉・松・その他 市日 素材 毎月本社8の日・新見支店3の日 製品 毎週木曜日</p> <p>株式会社 津山総合木材市場</p> <p>代表取締役社長 木下恒久</p> <p>本社 〒708-0011 津山市上田邑2880 素材部・製品部 TEL (0868) 28-7777(代) FAX (0868) 28-7890 新見支店 〒719-3811 新見市哲西町大竹330 TEL (0867) 94-3111(代) FAX (0867) 94-3555</p>	<p>株式会社 出雲木材市場</p> <p>代表取締役 三吉庸善</p> <p>定例市日 毎週火曜日</p> <p>〒六九三〇〇二二 出雲市上塩泊町八九〇一 電話 〇八五三二二一八五五 FAX 〇八五三二二一三六〇二</p>
<p>肥後木材株式会社</p> <p>取締役会長 佐藤耕三 代表取締役社長 佐藤圭一郎</p> <p>定例市日 11・19・27日 8・25日(人吉市場)</p> <p>本社 〒861-8012 熊本市東区平山町 2986-11 (T) 096-389-0022 (F) 096-389-8911 人吉 〒868-0094 球磨郡相良村深水 2500-3 (T) 0966-35-0882 (F) 0966-35-0886</p>	<p>福岡市木材協同組合 福岡市木材市場</p> <p>理事長 伊藤正隆</p> <p>〒八一〇〇〇七一 福岡市中央区那の津三丁目十六一六 TEL 〇九二七七七一五七九一 FAX 〇九二七七七一三〇四四</p>	<p>株式会社 太洋木材市場</p> <p>代表取締役 樋口高良</p> <p>市売り日 二・十二・二十一日</p> <p>本社 〒七六〇〇〇五五 高松市観光通り二一〇一十五 電話 〇八七七八三三二二二一 FAX 〇八七七八三二一三〇四〇</p> <p>高知営業所 〒七八一〇一一二 高知市仁井田新築四五〇三番地一 電話 〇八八八四七七一七五二 FAX 〇八八八四七七一七三三二</p>
<p>都城原木市場株式会社</p> <p>代表取締役社長 上原昭一</p> <p>都城定例市日 二・二六日 小林定例市日 二・二六日</p> <p>都城 〒八八五〇〇三五 都城市立野町三八三三一 電話 〇九八六一三二一四八六五 小林 〒八八六〇〇〇六 都城市大字北西方一七八八 電話 〇九八四二七二〇二八</p>	<p>株式会社 ナンプ木材流通</p> <p>代表取締役会長 武内達男 代表取締役社長 武内暁男</p> <p>〒877-1371 大分県日田市大字東有田 2882-10 TEL 0973-22-4054 FAX 0973-22-4187 URL info@nanbumokuzai.com</p>	<p>(協)高知県 木材市場連盟</p> <p>事務局 株式会社ゲンボク市場内 〒781-5101 高知市布師田字金山 3936-1 TEL 088-845-1790 FAX 088-845-1793</p> <p>高知県木材株式会社 代表取締役 秋山順一</p> <p>株式会社ゲンボク市場 代表取締役社長 尾崎徳七</p> <p>大木坑木有限公司 宇和島出張所 大木木材市場 取締役所長 二宮政文</p> <p>(定例市日) 月二回 十五日・三十日</p> <p>〒七九八一二二四 愛媛県宇和島市三間町増田三八九 TEL 〇八九五五八一三〇三三 FAX 〇八九五五八一四五二四</p>

# 林業・木材産業の皆様の融資を支援いたします。

当基金は、法律により国や都道府県の出資をもとに設立された公的機関で、昭和38年の林業信用保証制度の創設以来、多くの皆様にご利用いただいております。

「銀行から融資を受けたいけれど・・・」とお考えの林業・木材産業の経営者の皆様、もしも返済できなくなった場合に当基金が返済を肩代わりする債務保証を利用すれば、融資が受けやすくなります。

○事業に必要な資機材の購入、人件費や燃料費の支払い ○災害等で事業に入れない期間の掛かり増し経費 ○事業規模の拡大などで一時的な資金が必要な方にもご利用いただけます。

まずはお近くの銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関、当基金の窓口へお気軽にご相談ください。



林業・木材産業信用保証

## 独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コープビル11階)

TEL:03(3294)5585~5586 FAX:03(3294)5595 URL:http://www.jafflc.go.jp

